

防災

すイエんサー クイズで防災力をUPした～い (前・後編)

放送日:2022年8月21日・28日 放送時間:25分×2本



対象校種 小学校・中学校

対象教科 社会・総合・学級活動

この番組の良さ



● クイズで防災力をアップ

学校では、児童生徒や教職員の危機管理能力や防災意識を高めるため、防災訓練を実施したり、理科や家庭科の学習で災害や防災について扱ったりしています。

本番組では、いざという時に役立つ知識や技能について、クイズ形式で学んでいく構成になっています。前編では、どしゃぶりの大雨、うしろから車が近付いてきたら気付くことができるか、火事のときに絶対にやってはいけないことなどについて学びます。後編は、大地震の際に部屋の家具を固定していることの大切さ、災害で避難したときに助けてくれる防災食が美味しい理由について学ぶことができます。出演者と共にクイズに挑戦することで、楽しみながら防災についての意識や関心を高め、防災力をアップすることができます。

● 備えの大切さを実感

近年、全国各地で大雨や洪水による災害が頻発しています。いつ起きる分らない災害に立ち向かうためには、日頃からの備えが大切です。学校では試すことができない実験や、行くことができない場所の映像は、子供たちの興味を引きつけ、日頃からの備えが大切を実感することができます。

番組活用のポイント

● 生きて働く知識・技能を習得し、判断力を高める

子供たちの身の回りには、様々な自然災害や事故・事件など、安全をおびやかすリスクが潜んでいます。学校は、子供を取り巻く多様な危険性を的確にとらえ、発達段階や学校段階、地域特性等に応じた防災教育を進めていく必要があります。

番組の視聴により、身近な場所で実際に起こり得る様々な災害や事故等の危険性を理解したり、安全な生活を実現するために必要な知識を身に付けたりすることができます。ここでは、「自分だったらどうするか」という主体的な判断や行動につなげていくことができるよう揺さぶりを掛けていくと良いでしょう。地域の防災センターや科学館などで体験学習が可能な場合は、積極的に活用していくのも防災力をアップすることにつながります。

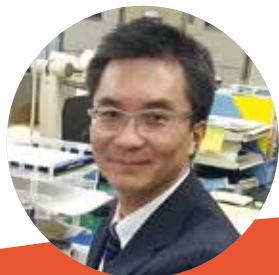
● 連携体制の構築と協働的に学ぶ場の設定を

防災教育については、多くの学校で、在校時に想定される災害に対して避難訓練を行ったり、地震や津波、洪水などの地域の特性や学校の実態に応じて様々なテーマで調べ学習や体験学習に取り組んだりしています。また、自治体の担当部局や専門家の協力を得ながら、地域や家庭も巻き込むことで連携体制の構築を進めている学校も多くあります。積極的に全国の先進的な取組や好事例を参考に、自校の防災教育の積極的な見直しをしていくことが大切です。

子供たちにとっては、登下校中のリスクや家庭にいる時のリスクなど、学校外で災害や危険な場面に遭遇した場合の対処方法なども身に付けていくことが大切です。本番組で出題されるクイズの問題は、いずれも子供たちの身の回りで起こり得るものばかりです。自分事としてとらえられるように、クイズの問題に対する答えを友達と議論し協働的に学ぶ場を設けると良いでしょう。また、学んだことを家庭で話し合う場を設定することも効果的です。

● 関連する番組を視聴することでさらに防災力のアップを

NHKティーチャーズ・ライブラリーには、地震や津波、巨大台風、水害や土砂災害、竜巻、火山などの防災教育で活用できる番組が多数ラインナップされています。子供の興味関心に沿って、他の番組も合わせて視聴することで、防災に対する知識や技能をさらに高めていくことができます。



執筆者
静岡県沼津市立第四小学校
教頭 加納 真